

# 第 37 回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会議事録

日時：2023 年 7 月 13 日（木） 18:40～18:50

場所：ZOOM 開催

出席者（別紙参照）

## 報告事項（事務局 村上より）

### 1. 大腿骨近位部骨折地域連携パス北九州標準モデルの利用状況

令和 5 年 6 月 2 日までに事務局へ送信され受理した連携シートについて報告した。急性期医療機関は 234 件/5 ヶ月、回復期等連携医療機関は 271 件/5 ヶ月であり、運用開始から急性期医療機関、回復期等連携医療機関の両施設より受理した患者数は 4430 名、合計 8866 名の利用となった。

#### ・集計結果（全受理データ）

急性期医療機関、回復期等連携医療機関ごとの事務局の受理件数、事務局への未送信件数を示し、未送信分に関しては送信していただくよう呼びかけた。加えて全受理データを用いて、年代別利用状況、骨折型別発症割合について報告した（ホームページ上の集計結果を参照）。

### 2. 5 回の立ち上がりテスト（改訂版）の評価特性及び退院時歩行能力の予測精度に対する調査の中間報告

・研究調査の目的として、大腿骨近位部骨折術後患者における上肢を用いた 5 回の立ち上がりテスト（5TTS）改訂版の検者間信頼性、およびその妥当性を明らかにすることと 5TTS 改訂版の結果が回復期病院退院時の歩行機能および患者の転帰の予測因子となるかを検討することとした。

・対象は大腿骨近位部骨折を受傷し、当院手術が施行された 40 歳以上の者かつ受傷前に屋内歩行が可能であった者とする。また、評価項目として、当院退院時では 5TTS 改訂版、筋力（上下肢）、疼痛、日常生活動作、認知機能検査、歩行機能とし、回復期病院退院時の歩行機能および転帰の結果はパスデータより抽出する。5TTS 改訂版は、通常の 5TTS の方法に上肢支持を追加する。

・中間解析報告として、2022 年 9 月から 2023 年 7 月で大腿骨近位部骨折の患者様 17 件の当院退院時に測定を実施した。解析結果として、検者内信頼性は級内相関係数（ICC） 0.968、検者間信頼性は ICC 0.980 とともに高かった。また改訂版 5TTS と各項目との関連では、術側及び非術側の下肢筋力、認知機能と相関を認めたと報告した。

### 3. その他

- ・異動等で委員が不在の病院は、委員変更届を提出するようお願いした。
- ・当該病院のアルファベットに関しては、事務局まで問い合わせをお願いした。

## ご意見やご要望の連絡先

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 産業医科大学リハビリテーション医学講座

担当職員：森口いづみ、担当医：徳永美月

Fax 093-691-3529

E-mail: reha@mbx.med.uoeh-u.ac.jp

文責 村上 武史、徳永 美月

北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会事務局幹事

産業医科大学リハビリテーション医学講座 Tel 093-691-7266

2023年7月13日開催  
第37回北九州大腿骨近位部骨折地域連携パス協議会

委員登録出席医療機関：

JCHO九州病院	済生会八幡総合病院	北九州市立八幡病院
九州労災病院	製鉄記念八幡病院	新小倉病院
北九州総合病院	新小文字病院	正和中央病院
戸畑共立病院	小倉記念病院	産業医科大学病院
福岡新水巻病院	健和会大手町病院	正和なみき病院
戸畑けんわ病院	東筑病院	芳野病院
北九州安部山公園病院	小倉リハビリテーション病院	小倉きふね病院
北九州八幡東病院	西野病院	北九州市立門司病院
浅木病院	戸畑リハビリテーション病院	新中間病院
北九州湯川病院	北九州小倉病院	宮田病院
芦屋中央病院	遠賀中間医師会おかがき病院	佐々木病院
新王子病院	医療法人優和会こが医院	香椎丘リハビリテーション病院
門司メディカルセンター		